

科目名	工業数理	英語科目名	Industrial Mathematics
開講年度・学期	平成18年度・後期	対象学科・専攻・学年	機械工学科1年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	1	単位種類	履修単位(30時間単位)
担当教員	増淵 寿	居室(もしくは所属)	機械工学科棟2階
電話	0285-20-2200	E-mail	masubuti@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
1. 大きな数値や小さな数値の表現法を身につけ、これらの数値を用いた基本的な計算ができる。 2. SI 単位を理解し、単位をもった物理量の計算ができる。 3. 回転運動を表わす方法を理解し、回転機械の基礎的な計算ができる。 4. 工学の具体的な現象を処理するのに、数式やグラフを道具として活用できる。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
試験での関連問題について60%以上の成績で達成とする。			
評価方法			
評価は下記3項目の加重平均によって行う。 1. 定期試験(70%) 2. 演習問題や課題の解答内容(20%) 3. 授業の出席状況と受講姿勢(10%)			
授業内容		授業内容に対する予習項目	
1. 科学的記数法(3週) 2. SI 単位(6週) (後期中間試験) 3. 回転運動(3週) 4. 実験式とグラフ(3週) (後期期末試験)			
キーワード	科学的記数法、有効数字、SI 単位、回転運動、実験式、関数とグラフ		
教科書	自作のプリントを使用する		
参考書			
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
JABEE 基準1の(1)との関係			
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目		中学校で学んだ数学および理科科目全般	
現学年の関連科目		基礎数学A, B, 工作実習, 物理	
次年度以降の関連科目		工業力学	
連絡事項			
1. 授業方法は講義を中心とし、演習問題や課題を出して解答の提出を求めます。 2. 授業中に配布する問題を必ず解き、正確に解答できるようにして下さい。 3. 定期試験は時間を60分とし、計算機の持ち込みは可とします。 4. 授業には、必ずポケコンを持参して下さい。			
シラバス作成年月日：平成18年 4月20日			